

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	商店街等振興事業							事業コード	070102310104						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援						施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	森田 成章							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	173	頁	
計画期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	—				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市商店街等イベント事業補助金、福知山市商店街活性化施設等整備事業補助金、京都府新しい商店街づくり総合支援事業費補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	商店街は古くから「まちの顔」として重要な役割を果たしてきたが、経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や来街者の減少により賑わいが失われ、街全体の活力の低下に大きく影響している。地域商業全体を底上げするための取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。					
対象者	市内商店街組織及び商業団体		対象者数	12	単位あたりコスト	208.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	960		2,410		1,080		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
小計(①～③)		960		2,410		1,080		0		
予算財源内訳	① 一般財源	480		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		808		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	480		1,602		1,080		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 1,309						
	② 配当予算	960		1,101						
	③ 執行額	625		1,056						
	④ 執行率	65.1%		95.9%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.23 / 0.00		0.18 / 0.00		/		/		
	② 概算人件費	1,840		1,440						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,465		2,496						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	商店街にぎわい施設・設備整備事業補助金	種類	商工費府補助金	実績金額	413	決算附属資料	26	頁
			商店街等振興事業基金繰入(地域振興基金)		基金繰入金		643		37	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	測定地点7カ所の歩行者通行量	人/日	3572	/	4200	4249	/	4200	3518	/	4200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	イベント実施回数	件	3	/	10	6	/	10	4	/	10
	単位あたりコスト		65.7		104.2		264.0				
	イベント実施団体数	団体	2	/	10	14	/	10	2	/	10
		単位あたりコスト	98.5		156.3		528.0				

商店街等振興事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	商業を活性化するのみならず、街全体の活性化につながる事業であり、その必要性は高い。まちづくり構想福知山においても「商店街、福知山まちづくり株式会社、福知山商工会議所、福知山市商工会などと連携した、各エリア、各個店の誘客と賑わい創出の取組に対する支援」を達成するための事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	商店街団体が主体的・自発的に商店街の活力、結束、イメージの維持向上と街全体の活力の向上を目的に実施する集客事業を支援するものであり、効率性は高い。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	各商店街や近隣スポットでのイベント開催を同期間に実施することにより、まちなかの回遊性の相乗効果を生み出し、賑わい創出に繋がっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	一部、40代の理事長に若返りを果たしている商店街団体もあるが、昨今の商店街は会員数の減少や高齢化に伴い、イベントの実施等が難しい状況ではあるが、他団体とも連携しながら一定集客効果があるイベント実施に向けて商店街活動に取り組んでいただく必要がある。		
改 善 策	イベント事業の経済効果と集客は一時的なものではなく、商店街のイメージ向上や店舗を知ってもらうことによる継続的な売り上げの向上につながっていくものである。各商店街団体との連絡を密にするとともに、必要により申請の支援等を行い、イベント実施団体及び実施回数の向上に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	小規模企業融資制度事業								事業コード	070102310107					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援						施策コード	821						
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	大江 秀也							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	173	頁
計画期間	開始年度	平成19年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市小規模企業融資制度取扱要領、福知山市設備強化利子補給金交付要領														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	日々の経営安定を図るために必要とする事業資金を金融機関から借り受ける小規模事業者を支援することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与する。				
対象者	市内事業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,060		746		899		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,060		746		899		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,060		746		899		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		140										
	② 配当予算	1,060		886										
	③ 執行額	948		886										
	④ 執行率	89.4%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12	/	0.00	0.04	/	0.20	/						
	② 概算人件費	960		880										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,908		1,766										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	設備資金融資件数	件	10	/ 42	13	/ 42	7	/ 42	/	42	42
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	設備強化利子補給件数	件	6	/ 20	11	/ 20	11	/ 20	/	13	13
	単位あたりコスト		173.0		86.2		80.5				
			/		3 /		/		/ 小規模企業融資制度事業		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	利子補給制度は、民間事業者が行えず、資金繰りの円滑化には有効な手段である。平成30年度から設備投資を行う融資に限定しており、企業の成長、安定化が見込めるだけでなく、労働力不足の解消や生産性の向上に寄与している。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	利子補給制度については、コスト負担は小さいが、設備投資による税収増加が見込めることから妥当であると判断できる。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	設備投資件数及び設備投資額を把握するようにしたことから利子補給効果が適切に把握できるようになった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市内の全金融機関の融資が対象となっており、市内全域の小規模事業者の支援に繋がっている。 ・小規模事業者の設備投資を支援することで、高齢化に伴う人手不足の解消や事業の継続や拡大に繋がるとともに、生産性向上及びAI・IoT化の促進にも繋がる制度である。		
改 善 策	事業者の積極的な設備投資のきっかけとなるよう、福知山市ホームページやチラシを活用して周知を図るとともに、申込窓口となる金融機関への制度周知を図るため、創業支援事業ネットワーク会議などの場を活用して積極的に制度案内を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	災害復旧融資特別支援事業										事業コード	070102310108			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	大江 秀也					
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	173・174	頁
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和11年度		関連計画名	－				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市平成30年7月豪雨災害復旧融資特別支援事業要領、福知山市令和5年度災害復旧融資特別支援事業要用綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	平成30年7月豪雨災害及び令和5年台風第7号災害による災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し、事業再建のために必要となる利子補給を行い、資金繰りの円滑化及び経営の安定化を図る。				
対象者	市内事業所	対象者数	2	単位あたりコスト	454.5
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	730		496		500		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		730		496		500		0					
予算財源内訳	① 一般財源	730		496		500		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	730		496									
	③ 執行額	421		389									
	④ 執行率	57.7%		78.4%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.11	/	0.00	0.03	/	0.10		/				
	② 概算人件費	880		520									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,301		909									
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	受給者の事業継続割合	%	0	/	0	100	/	100	100	/	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	利子補給金額	千円	735	/	1036	421	/	730	389	/	496
	単位あたりコスト		1.0		1.0		1.0				
	交付件数	件	15	/	23	510	/	17	11	/	17
		単位あたりコスト	49.0		42.1		35.4				

災害復旧融資特別支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	平成30年7月豪雨災害及び令和5年台風第7号災害により被災した中小企業について、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	毎年同時期に申請書を送付しているため、事業所にも申請事務があることを理解してもらっており、円滑に行っている。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・本制度により災害復旧後の経営の安定化に繋がっていると捉えている。 ・令和6年度をもって平成30年7月豪雨災害により被災した事業者への利子補給は終了する予定である。 ・令和5年台風第7号災害により被災した事業者への利子補給が令和6年度から始まるため、利子補給金交付事務が円滑に進むよう事業者に交付申請手続を周知する必要がある。		
改 善 策	・対象事業者が交付申請期限内に申請手続が完了するよう、申請期間を十分確保するとともに、申請に必要な書類をわかりやすく通知するよう努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	ふくちやま応援プレミアムポイント事業								事業コード	070102310116						
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化								
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援						施策コード	821							
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	森田 成章								
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174		頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	—				R6現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	原油・エネルギー価格高騰や物価高騰の影響が続くなか、市民の暮らしを支え、地域経済の活性化を図るため、キャッシュレス決済システム「ふくぼ」によりプレミアム付きデジタル商品券を販売し、総額7.5億円規模の経済対策を実施する。				
対象者	市内事業者	対象者数	3,000	単位あたりコスト	61.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0				
	② 補正予算	0		191,501		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		0		191,501		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		191,501		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 11,558								
	② 配当予算	0		179,943								
	③ 執行額	0		178,391								
	④ 執行率	0.0%		99.1%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00	/	0.00	0.42	/	0.40	/				
	② 概算人件費	0		4,480								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		182,871								
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	ふくちやま応援プレミアムポイント事業(地方創生臨時交付金)			種類	商工費国庫補助金		178,391		17	頁
							実績金額					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	ふくぼ市内消費額	千円	/	/	727857 / 750000	/	750000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	加盟店舗数	店	/	/	318 / 350	/	350
	単位あたりコスト				561.0		
			/	7 /	/	ふくちやま応援プレミアムポイント事業	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市域内の経済活性化、域内消費の拡大、キャッシュレス決済の普及促進に必要な事業であり、他の事業との連携などにより、利用者数を増加させることできている。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	一般競争入札により事業者を選定し、作成したシステムであり、効率的に運営を行っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	加盟店の数多いほど利用者にとって利便性が高まり、域内消費につながることから、加盟店数と消費総額を目標としており、その数値は的確に把握測定することができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・プレミアム付きデジタル商品券については、デジタルプラットフォームを用いることで広く利用してもらうことができたが、一方で、子どもや高齢者などスマートフォンを所持していないか使用が困難に市民にとってはメリットが得られにくい。 ・既存のキャッシュレス決済システムを活用（連携）するのではなく、独自のシステムとして導入することで得られた消費実績データの分析と活用の検討が必要。		
改 善 策	・高齢者向けのスマートフォン活用支援策や、スマートフォン購入支援などの施策との連携の強化。 ・消費実績による、効果分析やデータの利活用を検討する。 ・今後、本事業で構築したシステムを日常的に継続利用するための事業として「キャッシュレス決済ふくば管理運営事業」に統合		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	商工業改善発達支援事業										事業コード	070102310117			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	森田 成章						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	商工会議所商工業対策支援補助金交付要領、商工会商工業振興対策支援補助金交付要領、福知山市補助金交付規則														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山商工会議所及び福知山市商工会が実施する経営指導・相談やセミナーの開催、まちづくりに関する各種事業を支援し、地域商工業の総合的な改善発達を図る。				
対象者	市内商工業者	対象者数	3,800	単位あたりコスト	5.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		17,370		16,260		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		0		17,370		16,260		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		17,370		16,260		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 112										
	② 配当予算	0		17,258										
	③ 執行額	0		17,258										
	④ 執行率	0.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00 / 0.00		0.20 / 0.00		/		/						
	② 概算人件費	0		1,600										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		18,858										
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	会員加入率(商議所)	%	/	/	33 / 35	/ 35	35
	会員加入率(商工会)	%	/	/	84 / 75	/ 75	75
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	相談件数(商議所)	件	/	/	1481 / 1800	/ 1800	1800
	単位あたりコスト				11.7		
	巡回支援件数(商工会)	件	/	9 /	2287 / 3000	/ 3000	3000
		単位あたりコスト			7.5		

商工業改善発達支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	経営支援にかかる専門性をもった団体へ支援することで、行政だけでは支援することが難しい、小規模事業者の支援を行うことができている。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	支援の対象者あたりのコストは低く、効率的な支援につながっている。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	商工会議所及び商工会の会員となることで、確実に支援にかかる情報を提供することができることから、会員数の維持・増加させることが目標達成につながっている。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	商工会議所及び商工会の会員となることで、確実に支援にかかる情報を提供することができることから、会員数の維持・増加させることが目標達成につながっている。		
改 善 策	商店街等との協議の場や広報誌等、様々な機会・場・手法を活用し、商工会議所及び商工会が実施する支援事業の紹介を行うなど、事業周知を積極的に行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	キャッシュレス決済ふくぼ管理運営事業										事業コード	070102310118			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	森田 成章					
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	—				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市独自のキャッシュレス決済システムの導入及び普及拡大により、市内消費の促進及びスマート社会の実現を目指す					
対象者	市内事業者		対象者数	3,000	単位あたりコスト	7.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	0		34,439		28,720		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		0		34,439		28,720		0			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		34,439		28,720		0			
決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 16,489							
	② 配当予算	0		17,950							
	③ 執行額	0		17,903							
	④ 執行率	0.0%		99.7%							
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.00	/	0.00	0.42	/	0.40	/			
	② 概算人件費	0		4,480							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		22,383							
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	キャッシュレス決済ふくぼ管理運営事業基金繰入(ふるさと納税基金)		種 類	基金繰入金		17,903		40	頁
						実績金額					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	ふくぼ市内消費額	千円	/	/	51878 / 250000	/ 250000	500000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	加盟店舗数	店	/	/	318 / 350	/ 350	350
	単位あたりコスト				56.3		
			/	11 /	/	キャッシュレス決済ふくぼ管理運営事業	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市域内の経済活性化、域内消費の拡大、キャッシュレス決済の普及促進に必要が事業であり、他の事業との連携などにより、利用者数を増加させることできている。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	一般競争入札により事業者を選定し、作成したシステムであり、効率的に運営を行っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	加盟店の数多いほど利用者にとって利便性が高まり、域内消費につながることから、加盟店数と消費総額を目標としており、その数値は的確に把握測定することができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本事業とは別事業により「ふくぽ」を活用したプレミアム商品券の販売を行うこととなったため、本事業のみでの成果を測りにくい。十分な加盟店数と利用登録者数から、一定、このシステムがニーズを受けることができていると考える。 しかし、プレミアム商品券を購入・使い切った人に継続的に使用いただけるよう、現在の加盟店に継続してもらうための方策が必要。		
改 善 策	加盟店がこのシステムをより活用し、自店等の経営を補完・強化できるよう支援を行う必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	中小事業者物価高騰等緊急支援金給付事業										事業コード	070102310120			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち						政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化						
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	大江 秀也						
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	174・175	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	-			R6現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	福知山市中小事業者物価高騰等緊急支援金支給要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	国際情勢の変化に伴う原油価格・物価高騰等の影響を受けて、光熱費、燃料費等が増加し、大きな影響を受けている市内の中小企業者及び団体の事業継続を支える。				
対象者	市内中小事業者等	対象者数	2,790	単位あたりコスト	97.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	0		0		0		0					
	② 補正予算	381,631		304,919		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		381,631		304,919		0		0					
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	193,939		152,460		0		0					
	② 国支出金	187,692		152,459		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 39,929									
	② 配当予算	381,631		264,990									
	③ 執行額	233,506		264,170									
	④ 執行率	61.2%		99.7%									
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.58	/	0.00	1.01	/	0.10	/					
	② 概算人件費	4,640		8,360									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		238,146		272,530									
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	中小事業者物価高騰等緊急支援金給付事業 (地方創生臨時交付金)		種 類	商工費国庫補助金		152,755		決算附属資料	18		頁
						実績金額							

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	/	100 / 100	100 / 100	/	—
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	給付件数	件	/	2142 / 3094	2436 / 2790	/	—
	単位あたりコスト			109.0	108.4		
			/	13 /	/	中小事業者物価高騰等緊急支援金給付事業	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	原油価格、物価高騰等の影響を受けている市内の中小企業者及び団体に対し、事業全般に広く使える支援金を支給し、事業継続を支援した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・12月補正予算の議決日以降、福知山商工会議所、福知山市商工会、関係機関等と連携して事業者向けに制度案内を幅広く行った。 ・部内及び部外からの動員職員や会計室と連携し、原則として申請から1～2ヶ月以内に事業者に給付することができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・想定件数は、昨年度の支給実績を踏まえ算出した。 ・他自治体の類似事業を分析の結果、副業・兼業により事業を行っている被雇用者や家族等の収入で生計を維持されている被扶養者は対象外とし、本業により事業を継続されている事業者を支援するよう制度設計した。また、不動産貸付業を行っている個人事業主も支援対象事業者に加えるなど、市内中小事業者等を幅広く支援した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・庁内関係課と連携し、可能な限り迅速に給付できる体制を構築した。その結果、原油価格、物価高騰等の影響を受けている市内事業者等の事業継続を支援することができた。 ・申請にあたっては記載ミスや添付書類不足が少なくなく、不備対応に多くの時間を要してしまった。		
改 善 策	今後同様の事業を実施する場合は、申請者に可能な限りわかりやすい募集要項や質問集を作成するなど、申請者に負担をかけない方法を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	まちなか賑わい推進事業								事業コード	070102310202					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化							
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援							施策コード	821					
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	森田 成章							
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	175	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	—				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	施設の適切な維持管理及び、活性化状況の調査分析を通じ、まちなか賑わいの推進を図る。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	941,201	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,634		8,095		1,746		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		3,634		8,095		1,746		0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,634		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		4,047		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		4,048		1,746		0					
決算情報	① 流充用額	△ 27		3,435									
	② 配当予算	3,607		11,530									
	③ 執行額	3,471		11,481									
	④ 執行率	96.2%		99.6%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.17	/	0.00	0.50	/	0.00	/					
	② 概算人件費	1,360		4,000									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,831		15,481									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	まちなか賑わい推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	商工費府補助金		実績金額	5,294		26	頁	
			御霊公園福知山パーキング貸付料			財産貸付収入			2,219		決算附属資料		30
			まちなか賑わい推進事業基金繰入(地域振興基金)			基金繰入金			2,589				37

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	測定地点7カ所の歩行者・自転車通行量	人/日	3572	/ 4200	4249	/ 4200	3815	/ 4200	/	4200	4200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	ポップランド2号館開館日数	日	275	/ 307	308	/ 307	307	/ 307	/	307	307
	単位あたりコスト		13.6		11.3		37.4				
			/		15		/		/ まちなか賑わい推進事業		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山パーキング管理事業について、まちなかの駐車場不足を解消しまちなかに集客を促すことを目的に実施している。コロナ禍が終了し、駐車場の利用が増加しているため、今後も必要となる事業かと思います。また、御霊公園を参拝するツアーバスが路上駐車することによる交通の危険が生じていたため、パーキング横の公園スペースをバス駐車スペースとして管理している。また、城下町福知山・まち歩き観光促進事業については、城下町としての歴史的資源、文化的資源、景観資源および商店街等、福知山市の魅力が集積する広小路界隈への来訪者増加を図ることで、まちなかのにぎわい創出や商業の活性化につながる。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	福知山パーキング管理事業について、パーキングの改築後22年が経過していることもあり、雨漏り、トイレ、エレベーター、精算機等の不具合が多くなっているが、計画的に修繕をすることで、コスト削減や効率化が図られている。また、城下町福知山・まち歩き観光促進事業については、福知山まちづくり株式会社及び協力店舗に一部負担を求める形で協力を仰ぎ、市の負担の減少につながっている。H30年度5月から事業の実施形態を変更し、他のステークホルダーにも負担を求めることで、市の単独負担を是正した。さらに、無料券の発行を店舗で行うようにしたことで、本制度の利用率や利用者がどこを訪れたのかが確認できるようになり、効果的な事業の実施や検証につながる形で実施できている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	城下町福知山・まち歩き観光促進事業について、まちづくり会社による参加店舗数維持の取り組み及び参加店舗を巻き込んだ制度の広報活動により、利用率は44%、執行率111%と高い水準であり、官民連携により中心市街地への誘客を図ることができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	城下町としての歴史的資源、文化的資源、景観資源および商店街等、福知山市の魅力が集積する広小路界隈への来訪者増加を図ることで、まちなかのにぎわい創出や商業の活性化につなげることができている。 R5年度は前年度比、時間駐車総台数106%、まち歩き利用台数110%と好調でありまちなかの賑わいづくりに寄与できている。		
改 善 策	パーキングの管理について、計画的なメンテナンスと管理を実施し、必要に応じて修繕や改修を行い、適切な維持管理に努める。 城下町福知山・まち歩き観光促進事業について、協力店舗数の維持向上および市民・観光客双方へ事業内容の周知に努め、利用促進を図るとともに、まちづくり会社や商店街と連携してイベント等を実施して利用機会の増加を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)		

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	まちづくり会社活動支援事業										事業コード	070102310203			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	森田 成章					
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	175	頁
計画期間	開始年度	平成31年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	—				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山まちづくり株式会社が、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進すること目的に、その実施事業に対して支援を行う。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	941,201	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	1,808		1,840		1,872		0							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0											
小計(①～③)		1,808		1,840		1,872		0							
予算財源内訳	① 一般財源	688		814		0		0							
	② 国支出金	0		0		0		0							
	③ 府支出金	904		810		828		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	216		216		1,044		0							
決算情報	① 流充用額	0		0											
	② 配当予算	1,808		1,840											
	③ 執行額	1,808		1,840											
	④ 執行率	100.0%		100.0%											
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.25	/	0.00	0.12	/	0.00	/							
	② 概算人件費	2,000		960											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,808		2,800											
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	まちづくり会社活動支援事業(きょうと地域連携交付金)		種類	商工費府補助金		869		26					
			まちづくり会社配当金			利子及び配当金		実績金額				216		決算附属資料	32
											頁				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数	軒	12	/ 12	12	/ 12	12	/ 12		/ 12	12
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	出店者協議会回数	回	3	/ 12	4	/ 12	3	/ 12		/ 12	12
	単位あたりコスト		595.0		452.0		613.3				
			/		17 /		/		まちづくり会社活動支援事業		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の実施事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	ゆらのガーデンの維持・管理やイベントの企画・運営等「中心市街地活性化基本計画」終了後も中心市街地の活性化に向け、事業を展開しており、公共性・公益性も高く社会的ニーズがあると考えている。	☐ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	「中心市街地活性化協議会」の法定構成員として、活動した実績やノウハウで市直営よりも効果的に実施されており、まちづくり事業推進の役割を果たしている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	観光施設との連携による集客力向上の取組や商店街や商工会議所等と連携してまちづくりを行っている。市にはない独自の、まちづくりの経験や知識を有しており、また商業関係者等のネットワークも構築されている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	各店舗の来店者数の集約、営業活動及びイベント等を通じ、また、市等関係団体との共同により商業の活性化を図っている。また、自主事業やガーデニングサークル等、中心市街地活性化基本計画終了後も引き続き、各種事業を円滑に推進するため、関係する組織・団体、地域住民等の連携を図り賑わいの創出を図っている。課題として、組織の体質強化や自立性の高い経営を実現し、市の関与がない民間事業として活動できるようにする。		
改 善 策	将来的には自立的経営を目指すよう、黒字が恒常化するよう財源の確保を促し、事業経費及び人件費等の抑制を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業										事業コード	070102310206			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	森田 成章					
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	175・176	頁
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	—				R6現在の状況		廃止/休止	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	民間主導の公民連携による先導的な事業モデルにより、遊休不動産を活用した創業支援、賑わい創出を図る。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	941,201	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	6,000		6,000		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		6,000		6,000		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	3,000		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	3,000		6,000		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	6,000		6,000							
	③ 執行額	6,000		6,000							
	④ 執行率	100.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.20	/	0.00	0.04	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,600		320							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,600		6,320							
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金		6,000		37	頁
						実績金額			決算附属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	駅正面通りの歩行者・自転車の通行量	人/日	513	/	755	496	/	755	407	/	755
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	駅正面通りでの新規開業数	件	12	/	14	14	/	20	12	/	20
	単位あたりコスト		500.0		428.6		500.0				
	単位あたりコスト		/		19		地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市より福知山フロント株式会社に補助金交付を通じ、商店街及び商店街内物件所有者との交渉等を実施いただいた。 令和4年度に商店街内のビルを活用し、商店街に不足する機能を充足する複合型施設の整備を福知山フロント株式会社が主体となって実施。イベントや物件見学会を通じた、複合型施設を核とした賑わい創出、新規開業希望者の掘り起こしを行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	令和4年度の複合型施設の整備に当たり、経済産業省補助金を活用する他、福知山フロント株式会社が銀行等から借入を行っており、令和7年度以降の運営に当たっては市等からの補助金の交付を受けない計画である。 民間主導の公民連携により効率化を図れている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	定例の会議実施等により密に情報を共有し事業を進めた。 通行量については、新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出自粛等の影響により低調ではあるが、新規開業数は既に当初の目標を上回っており、複合型施設の整備により、多くの新規開業を見込む。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山フロント株式会社が主導し、リスクも負いながら、遊休不動産を活用したサブリース方式による創業支援に積極的に取り組んでいただいている。 先導的なモデルとして他の商店街、地域への波及等に取り組んでいくことが課題。		
改 善 策	福知山フロント株式会社の取組・成果等について、市HPや広報誌等での発信するとともに、各商店街等との協議・相談時に情報提供等行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業										事業コード	070102310207			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち							政策目標	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化					
	施策名	1 商店街や個店の魅力向上支援								施策コード	821				
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	森田 成章					
会計情報	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	176	頁
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	—				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。				
対象者	まちなかへの移住・開業希望者		対象者数	不特定多数	単位あたりコスト
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	53,386		8,386		8,940		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		53,386		8,386		8,940		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	30,000		0		0		0						
	③ 府支出金	11,693		4,193		4,470		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	11,693		4,193		4,470		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	53,386		8,386										
	③ 執行額	52,189		8,364										
	④ 執行率	97.8%		99.7%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.15	/	0.00	0.07	/	0.00	/						
	② 概算人件費	1,200		560										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		53,389		8,924										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業(きょうと地域連携交付金)		種類	商工費府補助金		実績金額	3,953		26	頁		
			中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業基金繰入(地域振興基金)			基金繰入金			4,182				決算附属資料	37

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	新店舗開業数(年)	件	1	/	5	4	/	5	10	/	5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	新規登録物件数(年)	件	6	/	10	14	/	10	2	/	10
		単位あたりコスト	796.2		3727.8		4182.0				
	新規利用登録者数(年)	人	22	/	20	21	/	20	8	/	20
		単位あたりコスト	217.1		2269.1		1045.5				

中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の実施事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	まちづくり構想福知山において「空き物件を活用した新規開業や有効な情報発信による集客と回遊促進に対する支援」に該当する事業であり、まちなかにおいて増加する空き家・空き店舗等の活用を促進することは、不良空き家・空き店舗等の増加を防ぎ、景観の維持・改善も通じた住環境の向上によるまちなか居住の推進に繋がるほか、新規開業支援などにより商業振興が図られるなど市民・社会ニーズに合致し、優先度の高い事業である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	福知山まちづくり株式会社と連携して事業を実施することで、専門的に取り組む人材を確保し、事業の遂行にあたることができている。駅正面通り商店街での福知山フロント(株)による独自の取組による成果も著しく、スモールエリア毎でのエリアマネジメントによる遊休不動産の流動化の手法についても検討していく必要がある。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	空き店舗については、物件の掘り起こしを行い、補助金を活用した新規開業に繋げ、まちなかの商業振興および賑わい創出に繋げることができている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進める上で、新規物件の掘り起こし、福知山まちづくり株式会社による情報発信や空き家を活用したイベント等の開催を通じて、まちなかへの移住や開業に対するニーズを喚起できている。空き家を活用したイベントの実施やストックバンクを活用して開業した店舗を紹介するチラシの作成を行う等、ストックバンク制度の周知及び新規物件と新規利用希望登録者の掘り起こしに努めた。		
改 善 策	空き家については、登録物件数が少なく、「物件の持ち主に活用する意識がない」「物件の老朽化により賃貸できる状態ではない」などの問題があるため、課題を解決し登録件数を効果的に伸ばす必要がある。自治会との連携、物件所有者や利用希望者への情報提供や遊休不動産の流動化に向けた啓発を行い、新規物件の掘り起こしを行い物件登録件数の増加と積極的な利用を促していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	受給者の事業継続割合	%	- / -	- / -	- / 100	/	—
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	給付件数	件	- / -	- / -	- / 25	/	—
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	令和5年台風第7号災害により被災した中小企業者等の経営再建を支援する必要がある。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	京都府等の他の支援との併用ができるため、支援内容の説明を行う際に理解が得られやすい。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	中小企業者等への支援に繋げることで、資金繰り等の安定が図れる。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	本市ホームページをはじめ、福知山商工会議所、福知山商工会にチラシを配布し、特に被害が大きかった大江町の事業者を中心に周知した。 しかしながら、保険金の適用があったことや、被害規模が少額であることに起因し復旧を実施されなかったことが主たる要因となり、本補助金の申請はなかった。		
改 善 策	有事の際は商工団体をはじめとする関係機関と連携し、積極的に周知を行うとともに、申請者にとってわかりやすい制度設計を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止／休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)